

## 第 94 回教育研究評議会議事録

I 日 時 平成 24 年 2 月 16 日 (木) 14 時 00 分～15 時 22 分

II 出席者 議長 山田学長  
評議員 清水、赤平、西川、米倉、鈴木、宇川、五十嵐、辻中、東、川那部、江口、三明、  
大田、白岩、五十殿、植松、前川、畔上、本澤、小川、田林、喜多、中山、阿江、  
玉川、大高、朝岡、金保、波多野、井上、板野、舛本、石田、加賀、BENTON  
代 理 原医学類長 (大塚医学群長)  
梅村計算科学研究センター副センター長 (佐藤計算科学研究センター長)

### III 議 題

#### 〔審 議〕

- (1) 経営協議会学外委員候補者について ----- [審議 1 資料]
- (2) 大学教員業績評価指針、組織評価指針等の一部改正について ----- [審議 2 資料]
- (3) 筑波大学法曹学修生に関する法人細則の制定等について ----- [審議 3 資料]
- (4) 平成 24 年度教育研究基盤経費の配分方針について ----- [審議 4 資料]
- (5) 寄附研究部門の継続について ----- [審議 5 資料]

#### 〔報 告〕

- (1) 第 51 回経営協議会報告 ----- [報告 1 資料]
- (2) 平成 24 年度執行部体制について ----- [報告 2 資料]
- (3) 役職教員の選考について ----- [報告 3 資料]
- (4) 平成 24 年度学内予算編成について ----- [報告 4 資料]
- (5) 平成 23 年度教育に係る学長表彰の審査結果について ----- [報告 5 資料]
- (6) 独立行政法人国立科学博物館との連携協定について ----- [報告 6 資料]
- (7) リサーチユニット認定・リサーチグループ登録制度について ----- [報告 7 資料]
- (8) 平成 24 年度日本学術振興会特別研究員の採用内定について ----- [報告 8 資料]
- (9) 学術研究懇談会 研究担当理事・副学長懇談会 (第 20 回) について ----- [報告 9 資料]
- (10) 国立大学法人研究担当理事・副学長協議会 (第 6 回) について ----- [報告 10 資料]
- (11) 平成 25 年度以降の電子ジャーナル等の整備方針について ----- [報告 11 資料]
- (12) 鹿嶋市との震災復興に向けた連携協定について ----- [報告 12 資料]
- (13) 筑波キャンパスCO<sub>2</sub>排出量・エネルギー使用量実績 (1 月分) について ----- [報告 13 資料]
- (14) 第 2 回日本・北アフリカ学長会議開催について ----- [報告 14 資料]
- (15) 第 5 回学長主催トップマネジメントセミナーについて ----- [報告 15 資料]
- (16) FD/SD 研修会「大学におけるダイバーシティ・マネジメント」について ----- [報告 16 資料]
- (17) 若者の自殺を防ぐためのシンポジウムについて ----- [報告 17 資料]
- (18) 国際シンポジウム「行動神経科学の最前線～睡眠の謎に挑む～」  
開催について ----- [報告 18 資料]
- (19) 本学における秋入学の検討について
- (20) プレ戦略イニシアティブ「未来の子ども育ち研究支援センターの創設」  
シンポジウム・調査報告会について ----- [席上配付資料]

〔審 議〕

1～5 審議 1～5 資料に基づく審議の結果、それぞれ原案どおり承認された。

〔報 告〕

1 報告 1 資料に基づき報告があり、経営協議会学外委員の意見が紹介された。

2～6 報告 2～6 資料に基づき、それぞれ報告があった。

7 報告 7 資料に基づき報告があった。

なお、リサーチユニットの審査結果について、次回の教育研究評議会で報告する旨の発言があった。

8 報告 8 資料に基づき報告があった。

9 報告 9 資料に基づき報告があり、国立大学の改革に関する情報が紹介された。

10 報告 10 資料に基づき報告があり、平成 24 年度からの科研費の取り扱い等について説明があった。

11～12 報告 11～12 資料に基づきそれぞれ報告があった。

13 報告 13 資料に基づき報告があり、最近のCO<sub>2</sub>排出量が増加傾向にあるため、削減に向けて協力を願いたい旨発言があった。

14～18 報告 14～18 資料に基づきそれぞれ報告があった。

19 学長から、本学の秋入学の検討状況について報告があった。

20 席上配付資料に基づき、プレ戦略イニシアティブ「未来の子ども育ち研究支援センターの創設」シンポジウム・調査報告会について報告があった。

以 上